

留 学 報 告 書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2018年8月～2019年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約 50 万円
保険料	8 万円
宿舍費（1 か月あたり）	約 4.5 万円
食費（1 か月あたり）	約 3.5 万円
渡航旅費	31 万円

滞在形態関連

1) 種類
寮。
2) 部屋の形態
相部屋。6人
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット環境、電話、宅配ボックス、リビング（ソファ、テーブル）、ダイニングテーブル、収納棚、納戸部屋、冷蔵庫、洗濯機（各ビルに装備させている）

4) 住居を探した方法

留学先大学の指定。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

はい。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。留学先の大学から指定がありました。

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、大学の先生、大学のカウンセラー。

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

ディズニーの寮はかなりセキュリティが厳重だったので身体的な危険は感じませんでした。しかしながら、ディズニーから支給されるお給料が振り込みされるクレジットカードの不正利用や交通事故などが前例にあったのでできる限り普段の行動から気を付けていました。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

特に問題はありませんでした。

各サービスセンターにパソコンやプリンターも常備されていたので便利でした。

ネット環境は部屋の位置によりつながりにくい環境があったそうです。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

自分のお給料と奨学金から。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

バスが寮から出ているのでお金がかからず、コスト面ではかなり助かりました。

しかし日中は30分に一本、それ以外は1時間に1本だったので利便性は低かったように感じます。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

海外送金。
11) その他, 生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
仕事によっては手洗いによる手肌の乾燥, ストック作業での腰痛などがあるので, いつも使っているハンドクリームや湿布をもっていけば便利だと思いました。

渡航について
1) 現地空港から滞在先まで, どのようにして向かいましたか?
留学先大学のピックアップサービス。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか? あった場合, どれくらいの期間行われていましたか?
はい。

学習・研究活動についてのレポート (履修した科目ごとに記入してください)
履修した授業科目名
Applied Intercultural Communication
授業内容や試験, 授業を受けた感想について
異文化に関する授業で, 特にアメリカと日本間における異文化に関する内容がほとんどでした。 課題はエッセイなどが多く, エッセイの内容はかぶることが多いように感じました

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験, 授業を受けた感想について
ディズニーが実際に掲げている十数個の企業目標を基にアメリカの企業と日本の企業の利害について学ぶ講座でした

履修した授業科目名
Communication Internships
授業内容や試験, 授業を受けた感想について

授業スタイルは講義スタイルではなく、ディズニーでのインターンを通して経験談からレポートを書いたりなどを行う授業でした。

履修した授業科目名

Intercultural communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

授業スタイルが日本人だけでなく韓国、中国、カナダなどたくさんの国籍の中からディスカッショングループが作られ、授業時だけでなくアプリでもディスカッションなどを行いました。

留学体験記

<p>留学しようと思った理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>もともとディズニーが大好きで、人生の中においても、自己形成要素にもディズニーは欠かせない存在でした。世界的にも有名なカンパニーの一つであるディズニーカンパニーに働くことで、ディズニーカンパニーはどのような人材を採用しているのか、リーダーたちはどんな人柄なのかを自分が実際に働くことによって知りたいと思ったからです。また、ほかのどのプログラムよりも実用的な英語が身に付きやすい環境で半年間過ごせることに魅力を感じました。ディズニーを通して留学ができること、普通の留学ではできないこと、自分の経済力範囲内で参加が可能なこと、以上の点からこの留学先に決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>まず、留学の有無の決断（2年時に留学をしたい場合）は大学1年の夏ごろにしておくべきだと思います。決断が遅れるだけでTOEFL 勉強のモチベーションにも影響すると思うのでせめて自分の気持ちが行く、行かないのどちらに傾いているのかだけでも把握しておくべきだと思います。</p> <p>留学が決定してから、実際に準備という準備はあまりしていませんでした。今思えば、留学中は自分の発音が原因でなかなか通じない場面に多く遭遇したので、海外ドラマや洋画をみるだけでなく、自分の英語の発音をしっかり見直すべきだったなと思いました。また、ディズニーワールドが留学先だったので個人的にはパークの情報や映画鑑賞による知識の向上を心がけていました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>ディズニーインターン（以降、CP と略）はCP 専用ホームページやそのサイトに多くの動画が掲載されていたのでまずはそのサイトから多くの情報を得ていました。思いのほか情報もなかったので自分でInstagramでタグを使って調べたりしていました。このサイト、これといったアプリやサイトがおすすめですよというのはあまり見受けられなかったので、ご自身で工夫して情報収集をすることをおすすめします。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>職場の雰囲気は、誰でも平等に扱ってくれる印象を受けました。リーダーたちは常にパートやアルバイトだけでなく CP 生も常に面倒を見てくださったり、常に挑戦してみようというスタンスで支えてくださったので心配はいらなと思います。また、同僚もとてもフレンドリーな方が多く、時間がたつにつれて勤務中だけでなくプログラム中においても欠かせない存在となる人がた</p>

	<p>くさんいます。私の場合は幸いありませんでしたが、アメリカ社会のためやはり差別が存在してしまうそうです。しかしながら職場の同僚やリーダーなどが気遣ってくれるのであまり心配はいらなと思います。</p>
滞在先の雰囲気	<p>私の住んでいた寮はかなり落ちついた色が使用されていたり、日本人も何人かいたことで安心感を常に感じていました。また、交通の面ではバスが各寮そして各職場から出ているので何も心配なく過ごせると思います。また、寮内のセキュリティー対策はかなり厳重で24時間常に警備の方が寮の入り口で待機しているので、寮内でCP生以外の不審者への遭遇などの危険はかなり低いと思います。また、寮によりますが私が住んでいた寮はスーパーや飲食店、雑貨屋（ダイソー的なお店）へのアクセスがよかったのであまり不便だと感じることは少なかったです。各寮にサービスセンターがあったので、困ったことや宅配便、落とし物などを管理してくれていたため精神的にもとても安心できました。</p>
留学先における交友関係	<p>CPにおいてはルーミー、職場の同僚、友達の友達、ゲストなどさまざまな面で友好関係が生まれると思います。その中でも職場の同僚は私の中でこのプログラム中一番大きな存在でした。勤務中でのトラブル処理を助けてくれたり、一緒に作業をしたり、帰り道車で送ってくれたり、退勤後にご飯を食べにいたり、オフの日を一緒に過ごしたりなどプログラム中に欠かせない存在になります。また、ルーミーも、職場と比べるとかなり過ごす時間は異なりますが日々の生活の中で関わることで距離が友達以上の友好関係を築くことができました。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>プログラム中困ったことは、理不尽なクレームの対応やアトラクションが緊急停止した際の英語での対応です。母国語ですら難しかったりする対応が第二言語になったとたん相手にうまく伝わらなかったのがもどかしく、苦労しました。また、フロリダは冬でも比較的暖かいので急激な寒暖差に耐える抵抗力が減少した気がしました。なので風邪をひきやすくなったのが困ったなど感じる事が多々ありました。</p> <p>大変だったことは、CP生のほとんどがパークの締め作業がある夜シフトがほとんどだったので、帰宅時間が深夜0時前後のことが多く生活リズムが崩れがちな生活を送らざるを得なかったのが大変と感じました。</p>

<p>留学先における学習、課題や試験</p>	<p>授業が月1だったので、授業への苦勞は特に感じませんでした。また、授業のスペースも問題なく、そしてリラックスしながら受講したのを覚えています。プログラムの後半では日本人だけでなく、中国や韓国、スペイン、カナダなどさまざまな国からの参加者の学生とグループで授業を受けるようになり、ディベートを行うなどさまざまなスタイルでの授業をしてくださいました。テストなどはなかったのであまり勉学に時間は費やしませんでした。しかし、課題は週1、2週に1度のペースだったので定期的に勉強する時間ができていました。</p> <p>大変だったことはアプリでの課題の情報提示だったので、電波の環境があまりよくないときなどは課題の日程の把握にずれが生じたりなどがありました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>自由時間はパークへ訪れることが多かったです。趣味が写真撮影や動画制作だったので、休みの日にはパークへ訪れて明治参加者の働いているようすの写真をとったり、動画を撮影して動画制作などをしていました。また、職場の同僚や、ディズニーのイベントで仲良くなった子たちとあそびにいたり、寮で料理などをしていました。</p> <p>また、ディズニーに休暇申請をすることが可能だったので、うまく時間を調整してニューヨークやカルフォルニアなどに旅行をしたりなど自分が滞在しているエリアとは異なるエリアを訪れて違う角度からアメリカを満喫、体感しました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>年上の友人が留学をゴールにしてはいけないという話をしてくれたのをとても覚えています。留学でやりたいことや、留学期間中に成し遂げたいことなどたくさんあると思います。でもそれらをやり終えただけで終わってしまうのではもったいないなと思います。留学後も、留学の経験を生かされるように「なぜ自分がこの留学先に行きたいのか」「この留学を通して何をしたいのか、なりたいのか」など自分の気持ちの把握がとても大事だと思います。自分が留学を決意した理由をしっかりと把握していれば、準備期間だけでなく留学中困難に遭ったときなどもしっかり自分らしく頑張れると思うので、自分の中での理由付けをしっかりと把握することを大切にしてもらいたいなと思いました</p>